

神戸市政報告



■編集・発行：自由民主党神戸市会議員団 〒657-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL078-322-5846 ■発行日：平成27年8月10日



神戸市会議員
灘区

吉田 健吾

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

PROFILE
KENGO YOSHIDA

●昭和57年5月26日神戸市灘区生まれ●都幼稚園～灘小学校～鷹匠中学校～神戸高校～神戸大学発達科学部(在学中は野球部で活躍)～日本生命保険相互会社～家業である株式会社コアアイ入社～盛山正仁衆議院議員の秘書として、主に国会で政治の現場を勉強する。
●平成27年4月神戸市会議員選挙初当選●家族/妻・長男●所属団体/都賀財産区管理会、都賀だんじり保存会、神戸楽生会、灘納税協会青年部会、神戸青年会議所

■ごあいさつ

季夏の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

統一地方選挙ではみなさまにお世話になり、6月11日より神戸市会議員としての職をスタートさせることができました。早速、本会議で一般質問の場に立つこともできました。詳しくは中面にてご報告いたします。

また、人と人の繋がりがりや地域コミュニティの活性化を最重要課題としていることと、神戸市会最年少議員の子育て世代ということで、1年目は文教こども委員会を希望し、配属されることとなりました。本委員会にて地域社会のこと、子どもたちのことを中心に取り組んでまいります。

1年生議員らしく、また最年少議員らしく、精一杯邁進してまいる所存です。引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

MESSAGE



平成27年度神戸市予算

全会計：1兆8,075億5,700万円
(一般会計 7,281億7,400万円)
(特別会計・企業会計 1兆793億8,300万円)

計市
算民
たり
すに
入
ると

一般会計の予算を市民一人あたりに計算すると、47万4千円の市民サービスを行っています。

- 福祉の充実に.....約20.2万円
- 教育・文化の振興に.....約4.7万円
- 環境・衛生の向上に.....約4.1万円
- 住宅・まちづくりに.....約2.6万円
- 道路・公園に.....約2.0万円
- 産業の振興に.....約1.6万円
- 消防・救急に.....約1.2万円
- 区役所等の運営に.....約4.9万円
- 市債の返済に.....約6.1万円

■摩耶山で夏の思い出づくり

EVENT INFORMATION

神戸ストラットin摩耶山掬星台
～元気にやっとうよ

神戸ストラット実行委員会(摩耶山再生の会他)が主催する音楽イベントです。震災から20年、神戸の「今」を摩耶山から発信します!



- とき/8月22日(土)11:00-16:00
- ところ/掬星台
- 神戸ストラット事務局 078-366-5000

※荒天中止



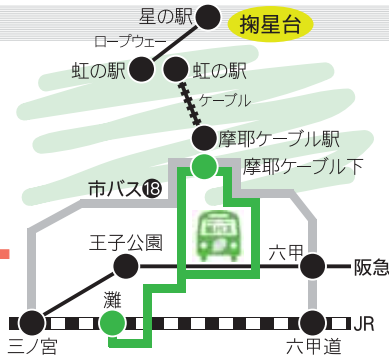
トワイライトバー
「摩耶山ステラ451」

灘の酒を飲みながら夜景をお楽しみください。 ※荒天中止

- とき/8月28日(金)18:00-20:30
29日(土)16:00-20:30
- ところ/摩耶ビューライン虹の駅
- 灘区まちづくり課 078-843-7001(内)

まやビューライン(摩耶ケーブル、ロープウェー)は悪天候時に運休する場合がありますので、ホームページなどでご確認ください。

六甲・まや空中散歩



神戸市会を 傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができる場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。

手続
き

傍聴を希望される方は、市役所1号館25階の市会事務局で住所・氏名等を記載し、傍聴章の交付を受けてください。
※会議の始まる1時間前から、先着順で受付。
※定員：本会議140名/委員会40名

神戸市会本会議場



平成27年7月2日

議事録抜粋

平成27年第2回定例会市会本会議において、一般質問を行いました。

自由民主党神戸市会議員団
吉田健吾



1 地域コミュニティの強化について

■質問/吉田健吾

地域が抱える課題の多様化・複雑化が進む中、地域コミュニティの重要性はより高まっているが、メンバーの高齢化や担い手不足により昨今その機能が低下しており、大きな問題となっている。

定年退職後の中高年齢者の活躍の場として地域コミュニティへの**加入促進支援**や、子供たちと地域のつながりを強くし、子供たちを地域の中で育てていくことなど、**機能向上**に向けた取り組みを進めるべきと考えが見解をうかがう。

■答弁/久元市長

先般、神戸市地域活動推進委員会よりコミュニティ施策に関する提言をいただいた。この提言に沿った形で具体的な施策を進めていきたい。

とりわけ神戸市役所における縦割り行政の弊害を解消しなければならない。また新たな人材の発掘について具体的な提言をいただいた。具体化のため、市全体として総合的・一体的な施策展開を行うため、「コミュニティ行政のあり方プロジェクトチーム」を設置した。専門家や若手職員を含む多様な視点から検討を進めていきたい。

ご指摘の子供たちと地域の大人とのつながりをどのように強くしていくのか、そして子供たちを地域の中で育てていくためにどのようにしていけばよいのかを含め、人材の発掘に向けた具体的な政策を練り上げていきたいと感じている。

2 中学校部活動の活性化について

■質問/吉田健吾

中学校における部活動の種目数は生徒数の減少や指導者不足などの影響により、決して満足するレベルにない。そのため希望する部活動がなく、仕方なく外部のスクールに通わなければならないといった問題が生じている。

例えば、最近では野球よりサッカーに参加する児童の方が増えてきている。中学校全82校の内78校に野球部があり、サッカー部は44校にある。小学校でサッカーを経験し、中学校に行けばサッカー部がないといった問題が現実起きています。中学校における部活動では、上下関係や横のつながりなど、社会性を育む場としての役割も大きい。中学生が

希望する部活動を自由に選択できる環境を作ることが将来的なスポーツ人口の増加にも繋がると思うが、今後どのように取り組みを進めていくのか。

■答弁/雪村教育長

平成14年度から、自校にその部活動のない学校の生徒が拠点校に集まり部活動を行う「拠点校部活動制度」を導入した。卓球、柔道等8つの個人種目とバスケットボールと合計9種目で導入し、昨年度31校、267人が参加した。ただ、吉田議員ご指摘のサッカーは実現していない。

また、複数校の合同チーム編成で大会出場ができる「合同部活動」を実施し、ソフトボール部でこの実績がある。神戸市独自の取組として、中学校でもサッカーをしたいという女子生徒に対し、月2回程度、「神戸レディースフットボールセンター」で練習会を行い、女子だけで練習できる環境づくりに取り組み、現在22校から45人が参加している。

拠点校部活動は、平成14年度参加生徒16名ではじめ、22年度160人、26年度267人と、一定程度は対応できている。ただ、拠点校の顧問の教員にとって、負担が非常に重いという課題もある。外部指導員の重点配置を行うなど、受け入れ可能な拠点校のさらなる増加を検討したい。

3 小中学校における主権者教育について

■質問/吉田健吾

選挙権を20歳以上から18歳以上に拡大する公職選挙法の改正がなされた。今後は、選挙管理委員会の出前授業や模擬選挙など高校での主権者教育が進められると聞いている。

小中学校においても、**政治と選挙の大切さを解り易く児童・生徒に伝える**取り組みを強化すべきと考えがどうか。

■答弁/雪村教育長

選挙権を中心とした市民と政治との関わりを学習する主権者教育は非常に重要であり、政治に興味・関心を持たせることが必要であると考えている。

文科省が全国の高校生に、配付を予定している「政治や選挙権等に関する副教材」の活用を図っていくが、中学校においても、それを参考にした中学生向けのワークシートを作成し、取組を進めていきたい。

また、模擬投票などの体験的な内容を組み込んだ出前授業についても選挙管理委員会と連携を深め、将来主体的に政治参加できる生徒の育成に努めて参りたい。

4 インバウンド施策について

■質問/吉田健吾

神戸市においては、本年度から、タイにネットワーク拠点を設置するなど、ニーズの把握やマッチング促進などの積

極的な取り組みが進められている。

今後、更なるインバウンド誘客を図るためには、国別に誘客数の目標を設け、何人の増加を目指すのか具体的な数値を定めるとともに、その**目標実現に向けた戦略的な取り組み**が必要と考えるが、今後の方針について伺いたい。

■答弁/岡口副市長

東アジア一本から、東アジアと東南アジアへ軸足の分散。団体旅行から個人旅行への分散。イスラム社会への分散などを図り、2015年度末までの目標である、神戸を訪れる外国人観光客の総数100万人の早期達成に取り組んでいる。

ご指摘の国別の目標数字の設定については、社会経済情勢による変動幅が大きいなどの理由により難しいと考えざるを得ない。まずは、喫緊の課題である100万人の達成に全力で取り組んでまいりたい。

5 六甲山・摩耶山の活性化について

■質問/吉田健吾

神戸市では平成25年の観光入込客数が過去最高の3,573万人を記録した。しかし、宿泊観光客はその内、481万人である。日帰り客と宿泊客では経済効果に差があり、宿泊客を伸ばさずべきというのは明らかである。

例えば、神戸夜景バスが好評を得ており、夜景サミットの開催も予定されている中、**1,000万ドルの夜景をもっと活用し、宿泊客の増加を図るべき**と考える。六甲山・摩耶山の活性化に向けた取り組みをより一層強化し、神戸観光の振興を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。

■答弁/岡口副市長

昨年8月、夜景が楽しめる「TENRAN CAFE」が六甲ケーブル山上駅にオープンした。

また摩耶山でも平成25年3月に開設した「摩耶ビューテラス702」を拠点に、夏場のケーブル・ロープウェイの延長運行に合わせた夜型のイベントを積極的に開催している。

また、8月の天上寺の深夜の年中行事四万六千日大祭に合わせて、ビューラインと坂バスを実験的に深夜まで運行するなど、夜景を活かした山の活性化に取り組んでいきたい。

6 公共交通について

■質問/吉田健吾

超高齢社会において、公共交通の果たすべき役割はこれから更に重要になってくる。地域の身近な買い物場である商店街や市場の衰退が進むなか、自力で買い物に行くことができない高齢者が増加している。このような**買い物難民の解消**を図るとともに、**商店街や市場の活性化**を促すために、商店街と交通空白地を結ぶ公共交通の整備に取り組む必要があると考えるが、見解を伺いたい。

■答弁/久元市長

いわゆる公共交通の空白地に対する対策としてこれまで進められてきたのが、灘区の「坂バス」、東灘区の「住吉台くるくるバス」である。

私はコミュニティバスの取り組みを、坂道の多い神戸の南北交通の手段として更に活用できないかと感じているが、そのためには地域のみなさんの盛り上がりが必要である。コミュニティバスや、更には乗り合いタクシーの活用といった新しい手段で、交通空白地を解消していく取り組みを進めたい。

7 防災意識の向上について

■質問/吉田健吾

震災から20年が経ち、震災を経験していない市民の割合も4割を超え、当時の経験や記憶は、時間の経過とともに、市民の中で風化されつつある。

しかし、震災を経験した神戸だからこそ、他都市の見本となる「防災都市」でなければならぬと考える。**防災を日常生活と一体となった活動としてとらえる**ことが大切である。市民の備えに対する意識をより一層高める取り組みを、年間を通じて継続的に実施すべきと考えるが、見解を伺いたい。

■答弁/岡口副市長

スマートフォン対応の防災啓発ポータルサイトを本年秋に向けて現在制作中である。「気軽に学べる防災啓発サイト」をコンセプトに、災害への備えにつながる様々な防災情報を一元的に提供したいと考えている。

地域においては、特に防災福祉コミュニティが、日常の福祉活動に加え、煙ハウス体験などの防災訓練や、防災ゲームなどを通して、子ども達に震災教訓を伝える取り組みなどを実施しており、神戸らしい自主的・持続的な活動として定着している。

日常的に気軽に防災に触れながら取り組める防災啓発活動を、今後さらに実施していきたい。

8 大阪湾岸道路西伸部の早期実現について

■質問/吉田健吾

国や県においても、議員連盟が設立され、湾岸道路西伸部の整備を求める動きが大きくなっている。この機を逃すことなく、湾岸道路西伸部の事業化を実現し、六甲アイランド以西の**ミッシングリンクの解消**に取り組むべきと考える。

また、事業化が実現し工事に着手したとしても、完成までには約9年かかると聞いている。完成までの期間、灘浜住吉川線の渋滞を根本的に解決するため、**ハーバーハイウェイを活用**すべきと考えるがどうか。

■答弁/久元市長

事業化に向けては地域の方々の御理解と御協力が必要であることから、地域への配慮を十分に行うよう求めており、この点について、今後も強く国に要望していきたい。

灘浜住吉川線の渋滞解決に向けて、高羽ランプから摩耶ランプを利用する乗継車両を対象に、ハーバーハイウェイの利用料を割り引く「乗継割引」の導入が考えられる。

関係機関と連携を図りながら、灘浜住吉川線の渋滞解消に向けた取り組みを推進していきたい。

本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧いただけます。
本会議中継については、スマホ・タブレットでもご覧いただけます。

神戸市会



自由民主党神戸市会議員団 市政報告
神戸市会議員 灘区
吉田健吾

防災特集

本格的な台風シーズンはこれから!!

今回の台風11号により、表六甲ドライブウェイは昨年に続き通行止めという被害が出ました。通行止め期間は2週間と、昨年に比べ被害は小さかったものの、山上にお住いの方や、働かされている方への影響は多大なものでした。六甲山・摩耶山の防災については今まで以上に対策をしていく必要があります。



▲表六甲ドライブウェイの危険箇所



また、今回は避難勧告の発令が緊急エリアメール等で発表され、不安な夜を過ごされた方も多かったと思います。神戸市では『防災ガイド』や『避難マップ』を配布しております。お手元のない方は是非、区役所や市役所で手にいれて頂き、ご一読ください。

いざといったとき、自分の身を守るのには自分しかりません。今一度この機会に、防災について考えて頂きたいです。防災が日常的に意識されるよう取り組んでまいります。

下記は、『くらしの防災ガイド』より抜粋

基本的な避難の流れ

台風の接近、大雨のとき

確認 テレビ、スマホ、携帯電話などで情報を集める。
警報や避難情報には、特に注意しましょう!

判断 避難のタイミングを決める。

行動 安全な場所へ避難する。

地震発生のとき

行動 まず、身の安全を確保する。
姿勢を低く、頭を守って、動かない。

確認 テレビ、ラジオなどで津波の有無・規模を確認。

行動 安全な場所へ避難する。
警報が解除されるまで避難を続ける。

津波・大津波警報の発表あり

水平避難(基本)

津波浸水想定地域の外へ徒歩で移動

逃げ遅れた場合は、家屋の上階や近くの丈夫な高い建物などへ。

津波の心配なし

余震に注意して近くの公園やグラウンドへ。

市街地で大規模な火災が発生した場合、緊急避難場所(地震・大火)へ避難。



今日からすぐにできること!!

ダウンロードして危険な場所をチェック!!

土砂災害・水害に関する危険予想箇所図(灘区)
<http://www.city.kobe.lg.jp/safety/prevention/map/>

住んでいる地域の危険性、緊急避難場所を確認



いざというときでも落ち着いて行動できるよう、避難経路などをあらかじめ想定。実際に歩いてみて、いくつかの避難経路やそれぞれの避難にかかる時間を確認しておきましょう。

平時のお問い合わせ、自主避難について。
灘区役所総務課 TEL078-843-7001(代)

備蓄や非常持ち出し品を準備

- 家庭内備蓄(水や食料などは、各家庭で3日分、できれば7日分のご用意を。
- 非常持ち出し品は、1人ずつ、リュックバッグなどに入れて、すぐ取り出せるところに置いておきましょう。男性は15kg、女性は10kgまでが目安です。



家族のルールを決めておこう

大切なものを守るのは、冷静な判断力と行動力。家族みんなで防災をテーマに話し合い、何かが起こった場合の避難場所や連絡方法などを決めておきましょう。



家庭内防災に取り組もう

耐震診断・耐震補強

家具の転倒防止



緊急時連絡先

災害が発生した時や緊急時の連絡先

- ▶ 消防 TEL:119 FAX:392-1119
- ▶ 警察 TEL:110 FAX:382-1110
- ▶ 消防防災センター
- ▶ 灘区役所総務課 TEL:843-7001(代) FAX:843-7011
- ▶ 消防 東灘区消防センター
- ▶ 東部建設事務所 TEL:854-2191 FAX:854-2190

ライフライン

- ▶ ガス 大阪ガス株式会社 TEL:0120-7-19424 FAX:0120-6-19424
- ▶ 電気 関西電力神戸営業所 TEL:0800-777-8041 FAX:06-6441-7143
- ▶ 通信 NTT TEL:113 FAX:0120-133-889
- ▶ 水道 東部センター TEL:451-2020 FAX:413-1300
- ▶ 下水道 東水環境センター TEL:451-0456 FAX:453-6320



灘区版

子育てがしやすく、安心して暮らせる街へ。

神戸市会議員 吉田健吾事務所
〒657-0051 神戸市灘区八幡町2-8-7-4F TEL078-846-0233 FAX078-846-0234 阪急「六甲駅」南へ徒歩約3分

灘区からGo!
吉田健吾
ホームページ
yoshidakengo.jp

